

(2) 初刊（第1巻目）の発行について

■ いしかり叢書N01 『吉岡玉吉さんの昔語り 「私の体験したサケ漁・ニシン漁」』

○ 刊行の意義

吉岡玉吉さんは、大正15年、石狩町本町地区に生まれ、家が漁家だったことから尋常小学校卒業後、石狩や厚田でのサケ漁やニシン漁にたずさわるだけでなく、北洋でのサケマス流し網漁船に乗船した経験を持っている。

吉岡玉吉さんは、こうした体験を石狩市郷土研究会「いしかり暦」あるいは石狩市民図書館が主催する「石狩の古老に話を聞く会」で話し手として話されている。

また、就職して石狩を離れるまでの二十数年間にわたる生活の思い出を吉岡玉吉「学習シリーズ」という冊子を自費出版している。

これらは、当時の旧石狩町や旧厚田村の漁業の様子を知るうえで重要な記録であることから、主要なものを再録し一書を編み、広く市民に紹介するとともに市の歴史の一部として後世に残すこととする。

○ 本の構成

1 はじめに

叢書発刊編集委員長 ～ 叢書の発刊の意図や今後の方針など

2 吉岡玉吉氏略歴（解説の中でも可か）

3 解説

吉岡さんの生まれた時代の石狩（可能であれば田中實さん）

4 本編（頁数 122, 383字）

(1) サケ漁編

- ① 13 石狩川河口に於けるサケ地曳網漁回顧
- ② 26 石狩浜鮭定置網（角網）事情
- ③ 17 「石狩川鮭漁」の図瞥見
- ④ 21 昭和初期から昭和20年代までの石狩市の漁船について
- ⑤ 25 石狩衆の漁労作業衣などを回顧して
- ⑥ 11 三平汁と石狩鍋
- ⑦ 12 北千島サケ・マス流し網漁めしたき物語

(2) ニシン漁編

- ① 22 厚田浜別狩今昔物語
- ② 18 石狩国厚田郡厚田村旧樺太アイヌ鯨場漁労絵図瞥見
- ③ 23 厚田浜「寄り鯨」写真瞥見
- ④ 24 北海の粒買船早春の日本海を征く

5 あとがき・謝辞など

○ 今後調整

- ・ 印刷業者との協議（版型、段組、字体）
- ・ 青木さんの写真など使用
- ・ 図、写真関係の許諾 手続き
- ・ 文中の年号や記憶違いのチェックなど